

最近の管内経済概況

(平成30年3月の経済指標を中心として)

～ 持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、改善している。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、持ち直している。

なお、先行きについては、人手不足や水産物の不漁が管内経済に与える影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

平成30年5月17日

照会先 : 経済産業省北海道経済産業局

総務企画部企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <http://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(平成30年5月現在)

発表月	平成29年12月	平成30年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
全国	景気は、緩やかな回復基調が続いている	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している		
生産活動	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加している	増加している	減少に転じている	増加に転じている	減少に転じている	減少している	
住宅建設	持ち直している	持ち直している	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
企業倒産	件数、負債総額とも増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	

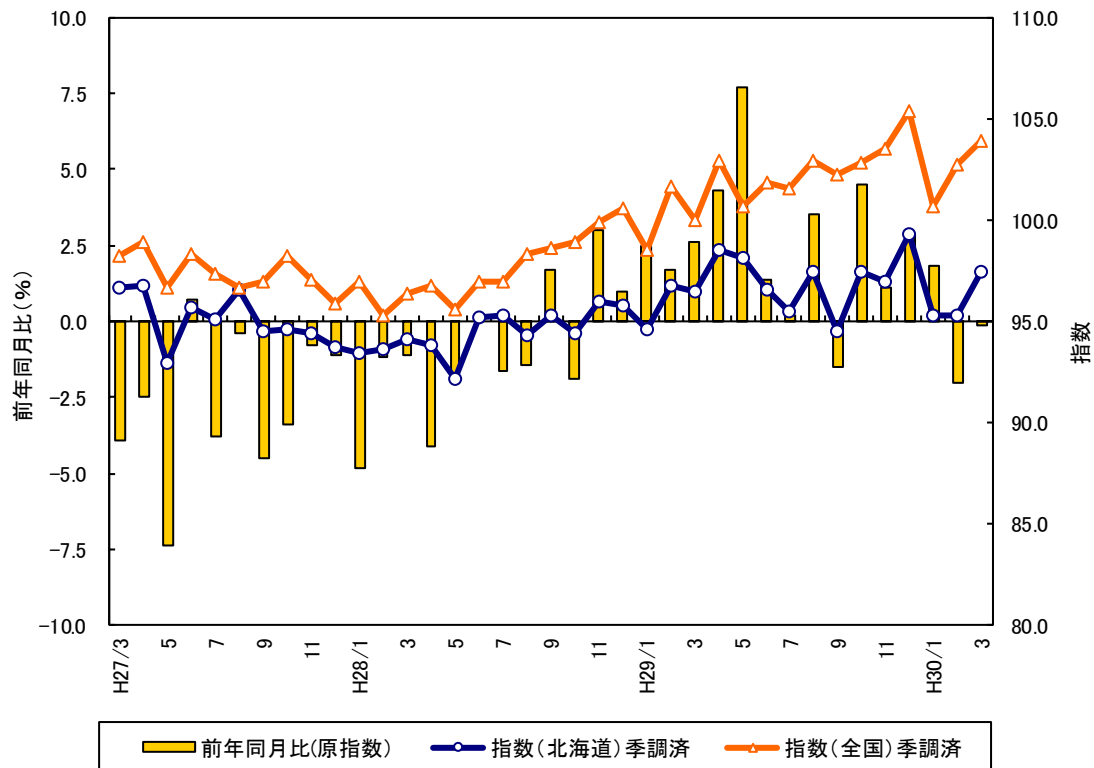
※全国は、内閣府「月例経済報告」の基調判断。

上方修正 据え置き 下方修正

3月の鉱工業生産は、前月比+2.3%と3か月ぶりに上昇した。
海外向けスポット生産の反動から鋼材の生産が減少したものの、自動車用装置向け需要増から金型の生産が増加した。

<3月>
季節調整済指数
北海道（速報） 97.5（前月比+ 2.3%）
全 国（速報） 103.9（前月比+ 1.2%）

鉱工業生産指数（平成22年=100）



【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・定期修理に備え在庫積増を行ったことから、セメントの生産が増加した。（窯業・土石製品工業）
- ・自動車用装置向け需要増から、金型の生産が増加した。（一般機械工業）
- ・海外向け大型受注や国内向け取替需要増から、金属加工機械の生産が増加した。（一般機械工業）
- ・生産設備のトラブル解消から、紙製品の生産が増加した。（パルプ・紙・紙加工品工業）
- ・海外向けスポット生産を行った反動から、鋼材の生産が減少した。（鉄鋼業）
- ・在庫調整を行ったことから、石油製品の生産が減少した。（石油・石炭製品工業）

■先行き

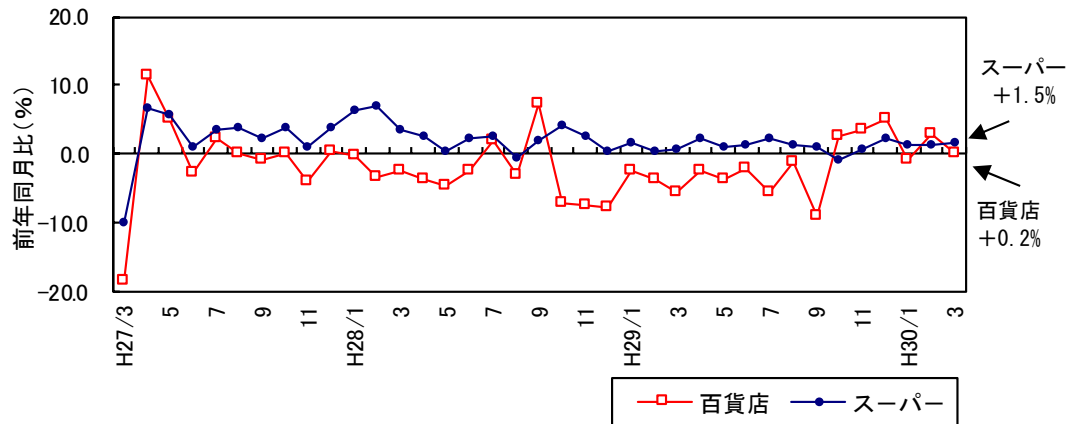
- ・大規模な設備更新工事が終了したことから、建設用鋼材の生産が増加する見込み。（鉄鋼業）
- ・業務用ビールの値上げの影響から、ビールの生産が減少する見込み。（食料品工業）

（資料：経済産業省、北海道経済産業局）

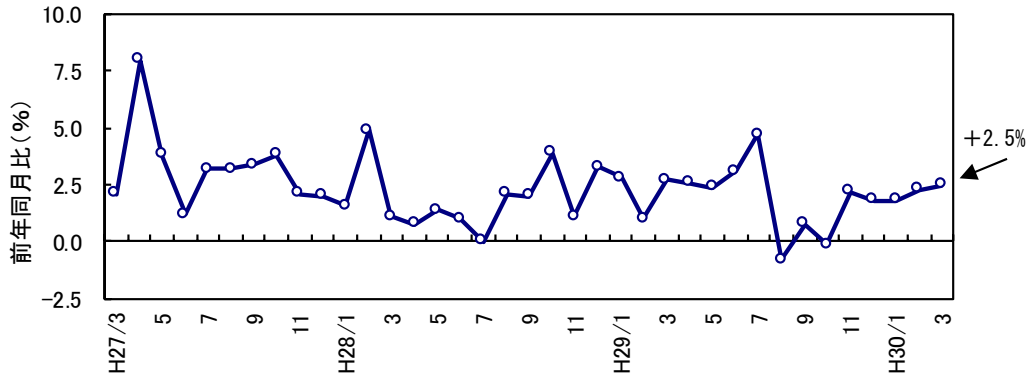
3月の個人消費は、飲食料品、化粧品が堅調なことから、持ち直している。

- ・百貨店は、免税売上の好調が続いていることから、前年同月比+0.2%と2か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の動きが引き続き堅調なことから、同+1.5%と5か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、麺類などの動きが良かったことから、同+2.5%と5か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアは、新店効果に加え、化粧品などが好調なことから、同+6.1%と35か月連続で前年を上回り、ホームセンターは、資材などの動きが良かったことから、同+3.8%と2か月連続で前年を上回った。

百貨店、スーパー販売額増減率の推移(全店)



コンビニエンスストア販売額等増減率の推移(全店)



【ヒアリング内容】

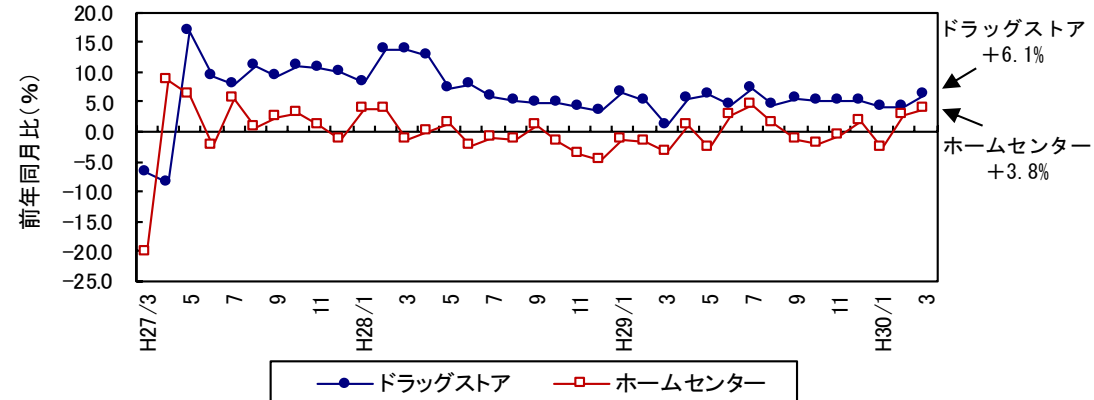
■現在の状況

- ・化粧品や高級ブランド服などの免税売上が好調だった。(百貨店)
- ・主力の食料品は、肉類が好調。また、総菜の売上も良い動きとなっている。(スーパー)
- ・気温の寒暖差が大きかった影響から、温かい麺類、冷たい麺類ともに動きが良かった。(コンビニエンスストア)
- ・上旬の荒天の影響を受けたものの、雪解けが早く進んだことから、家屋周りの補修用資材や自転車の動きが良かった。(ホームセンター)

■先行き

- ・気温が上がっていることから、アイスクリームやビールなどの夏物商材が動き出している。(コンビニエンスストア)

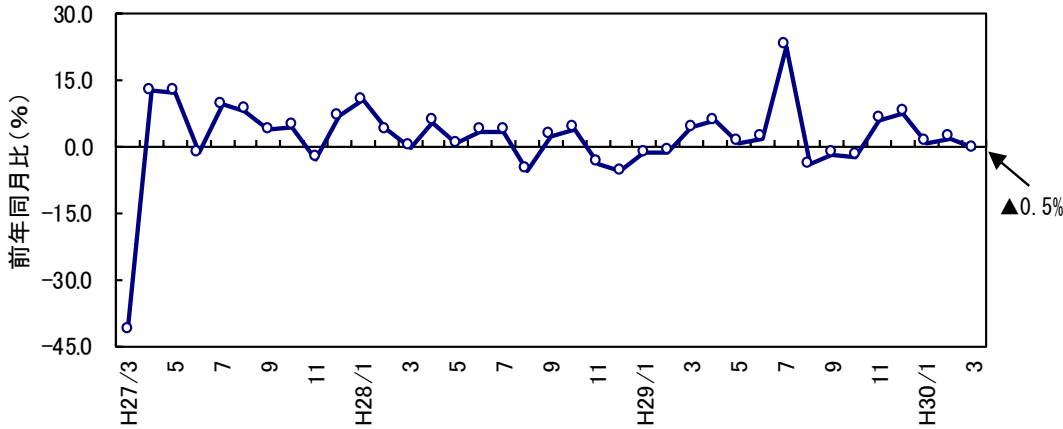
ドラッグストア、ホームセンター販売額増減率の推移



(資料:北海道経済産業局)

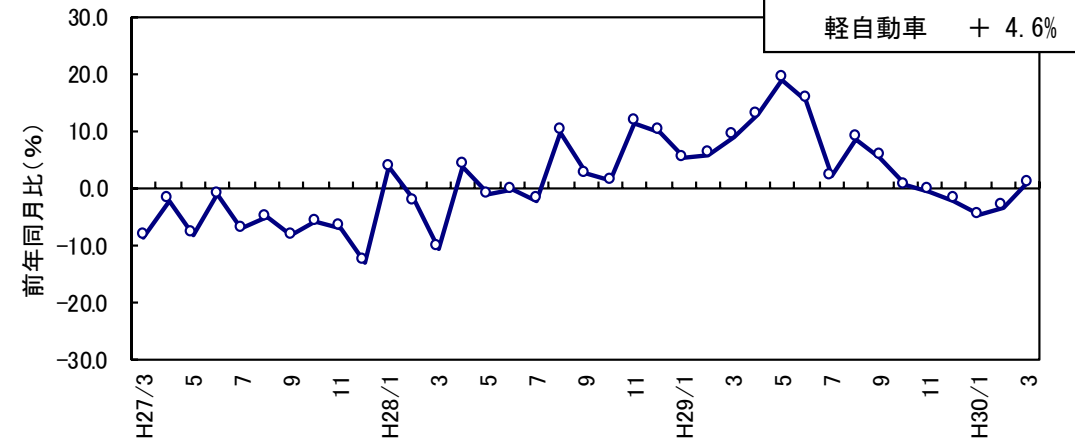
- ・家電販売は、新生活需要の遅れなどから、前年同月比▲0.5%と5か月ぶりに下回った。
- ・新車販売は、小型乗用車が前年を下回ったものの、普通乗用車、軽自動車が前年を上回り、全体では、同+0.9%と5か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額増減率の推移



(資料:北海道経済産業局)

新車登録・届出台数増減率の推移



<3月>

北海道	+ 0.9%
普通乗用車	+11.5%
小型乗用車	▲13.6%
軽自動車	+ 4.6%

(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・白物家電は、引っ越し業者の人手不足により、例年より引っ越し時期が後ろにずれた影響を受け、新生活需要の動きが弱かった。
- ・スマートフォン、ゲーム機は引き続き好調。

【ヒアリング内容】

- ・軽自動車は、安全性能や基本装備が充実した車種が人気となっている。
- ・普通乗用車は、無資格検査問題の影響が残るものの、新型車の発売などから動きが良くなっている。

3月の来道客数は、前年同月比+0.0%と2か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+32.4%と22か月連続で前年を上回った。

<3月>
 来道客数 109.0万人 (+ 0.0%)
 航空機 98.0万人 (+ 1.3%)
 JR 5.2万人 (▲11.2%)
 フェリー 5.7万人 (▲ 9.3%)

【ヒアリング内容】

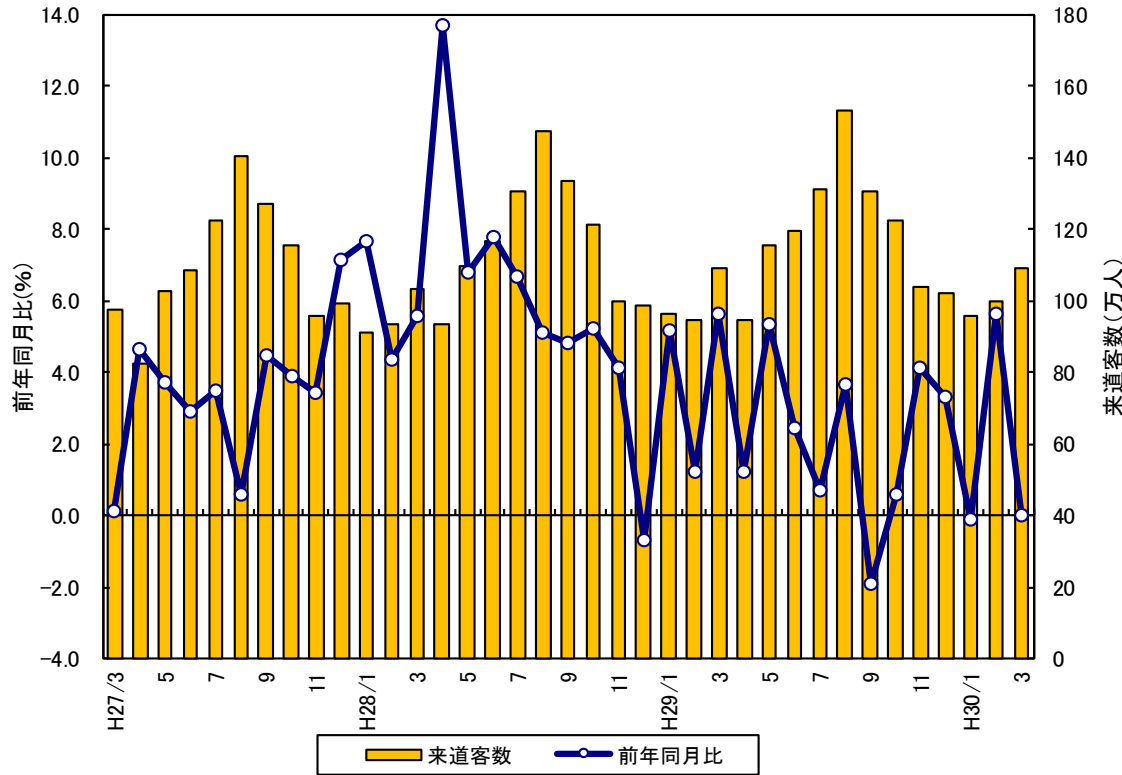
■現在の状況

- ・新たに就航したLCCの効果により、航空機を利用した道外客が増加している。(宿泊業)
- ・フェリーは、3月上旬の荒天による運休の影響などから、利用客数が減少した。(関係機関)

■先行き

- ・外国人観光客は、季節にかかわらず増加しており、宿泊予約は好調な動きとなっている。(宿泊業)

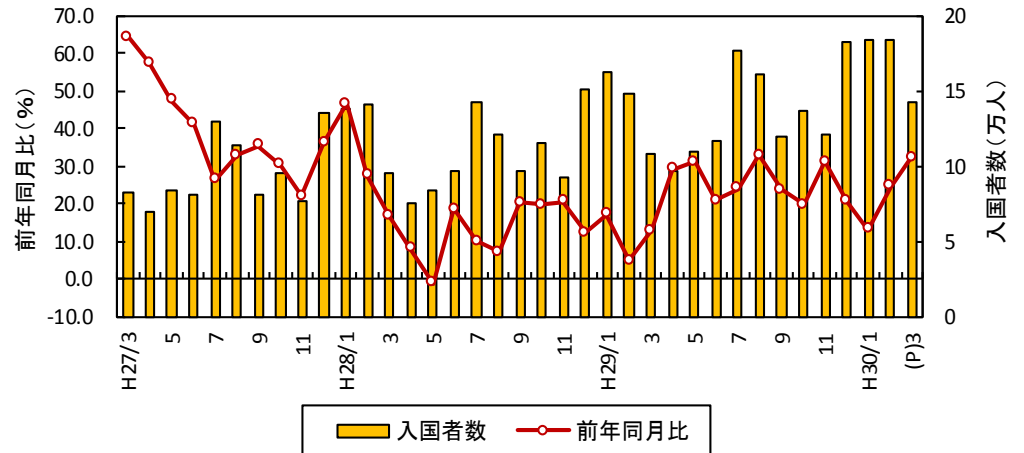
来道客数推移



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

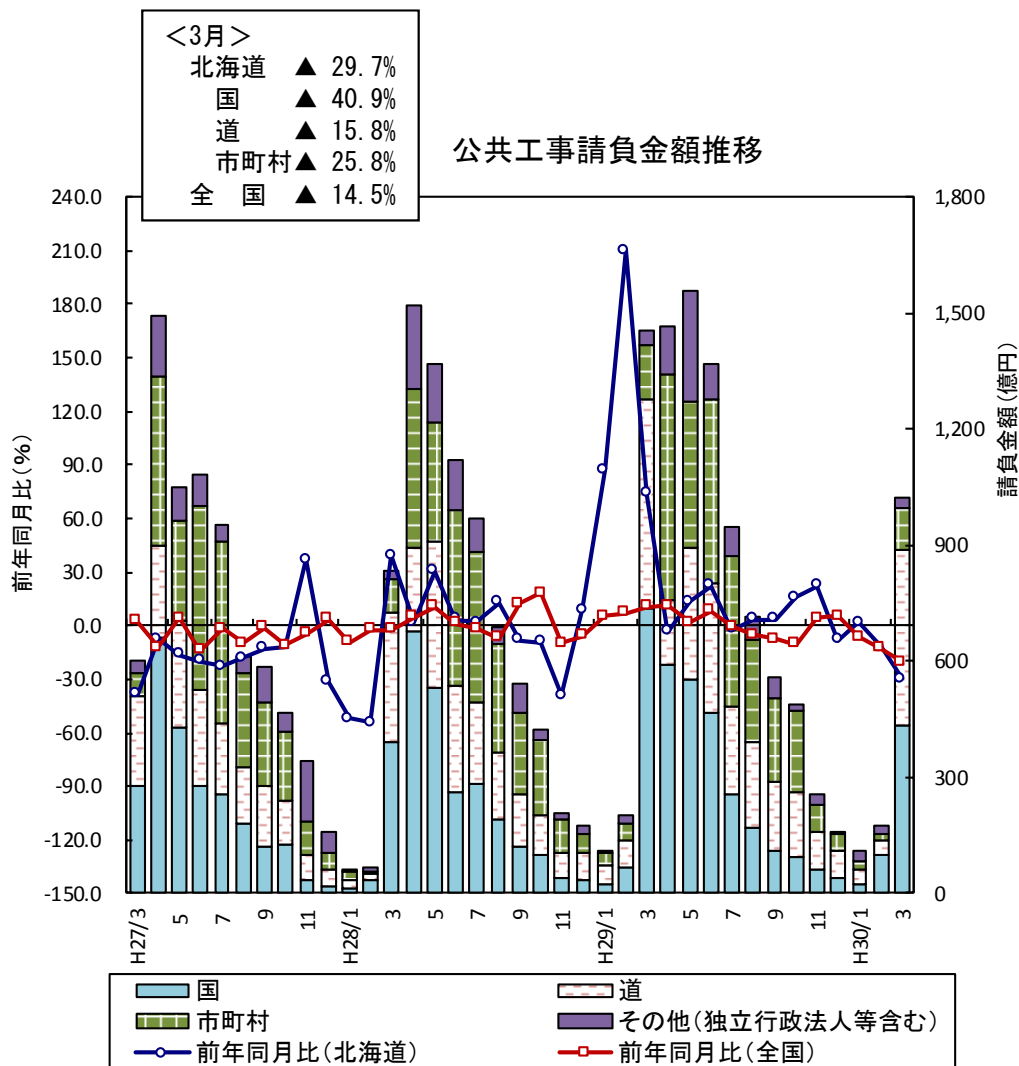
<3月>
 入国者数 14.3万人 (+32.4%)

道内外国人入国者数



注) "p"は速報値 (資料:法務省)

3月の公共工事請負金額は、国、道、市町村ともに前年を下回り、全体では、前年同月比▲29.7%と2か月連続で前年を下回った。平成29年度累計では、前年度比+0.6%となった。



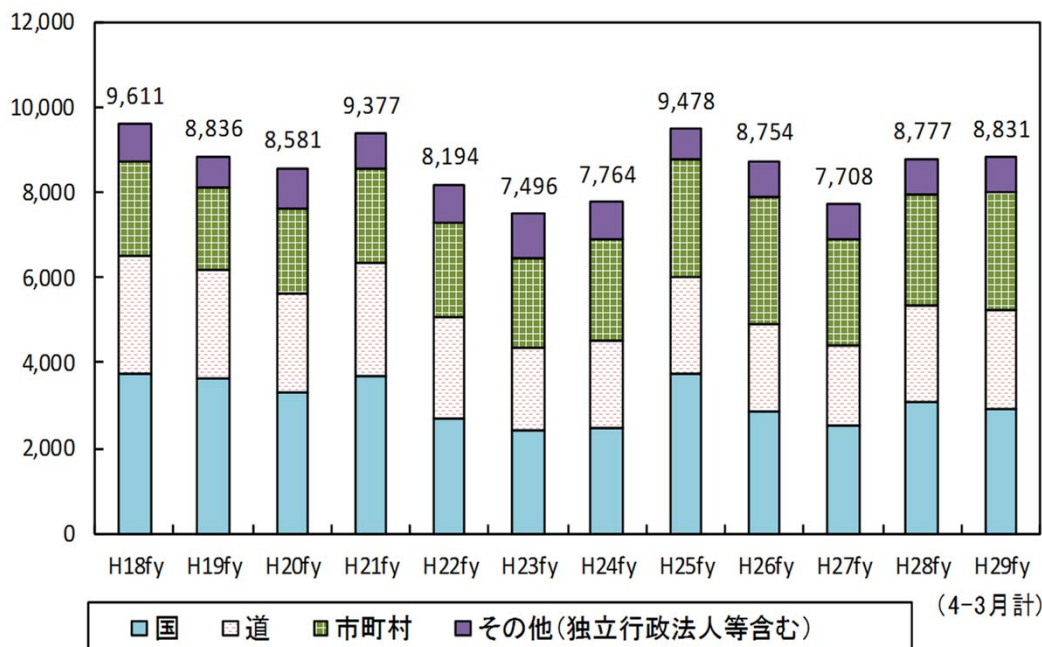
(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

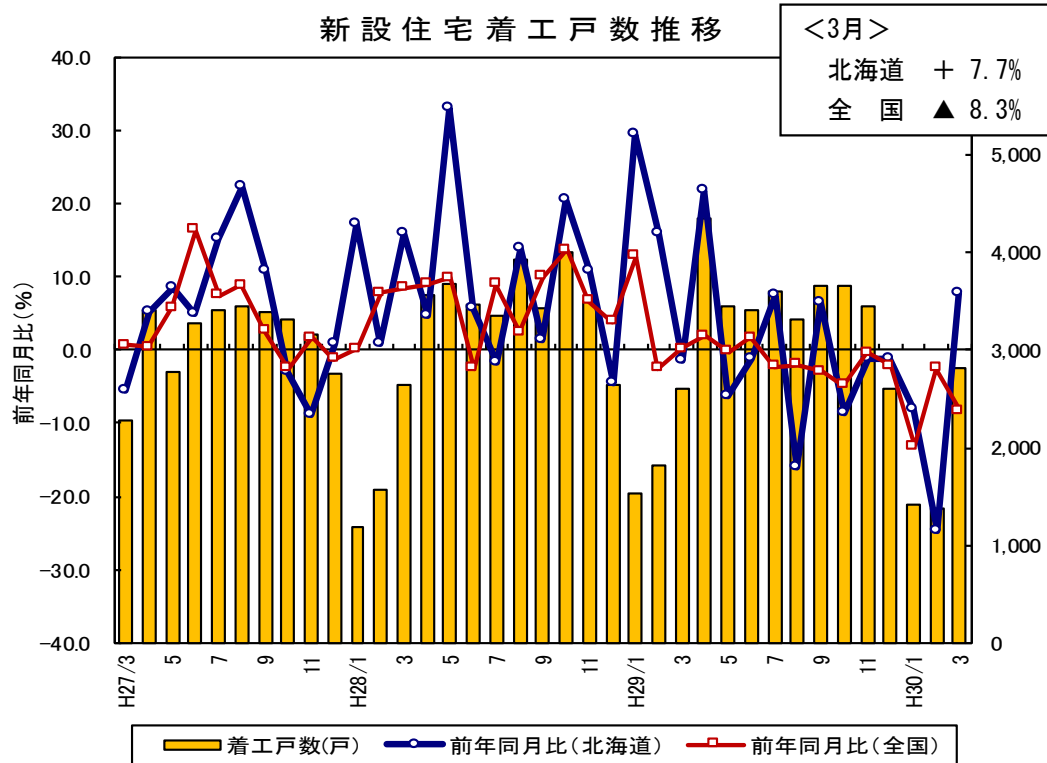
【ヒアリング内容】

- 現在の状況
 - ・前年あった、災害復旧工事や大型工事の前倒し発注などが減少したことから、全体的に下回った。(関係機関)
- 先行き
 - ・災害復旧工事が一巡したことから、平成30年度の公共工事の件数、請負金額は、前年度より減少するだろう。(関係機関)

公共工事請負金額推移(年度別累計)

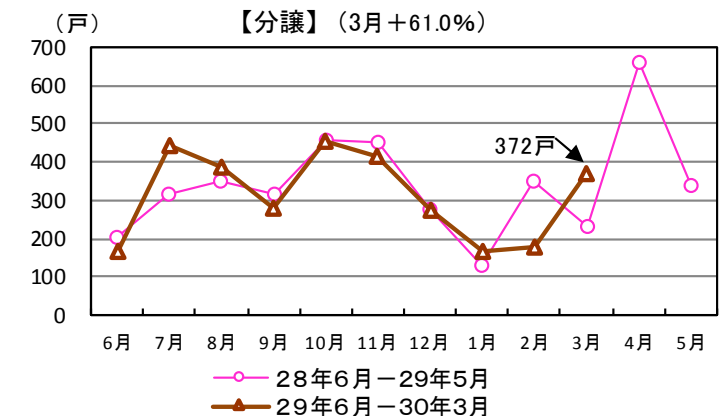
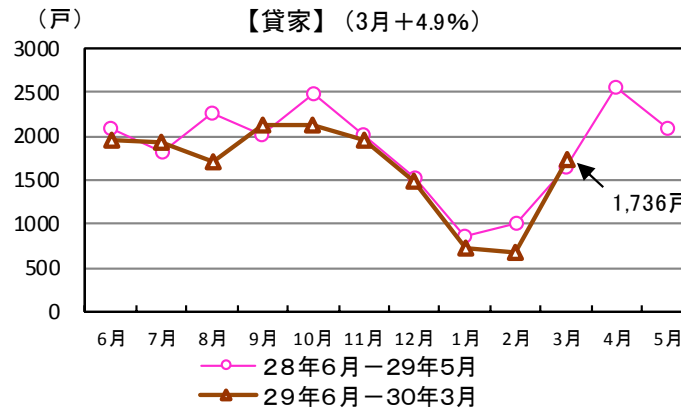
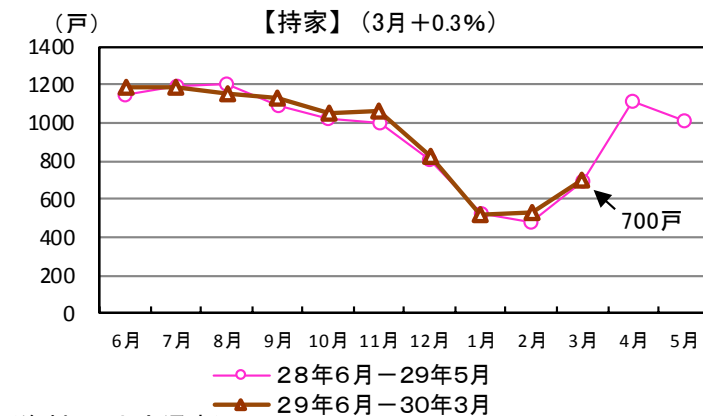


3月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲ともに前年を上回り、全体では前年同月比+7.7%と、6か月ぶりに前年を上回った。



【ヒアリング内容】

- 現在の状況
 - ・複数のマンションの新規着工があったことから、分譲戸数が増加した。(関係機関)
 - ・貸家は供給過剰気味のため、新規着工は落ち着いている。(関係機関)
- 先行き
 - ・持家は、住宅ローンの低金利が続いていることから、今後も着工が見込まれるが、貸家は減少するだろう。(関係機関)

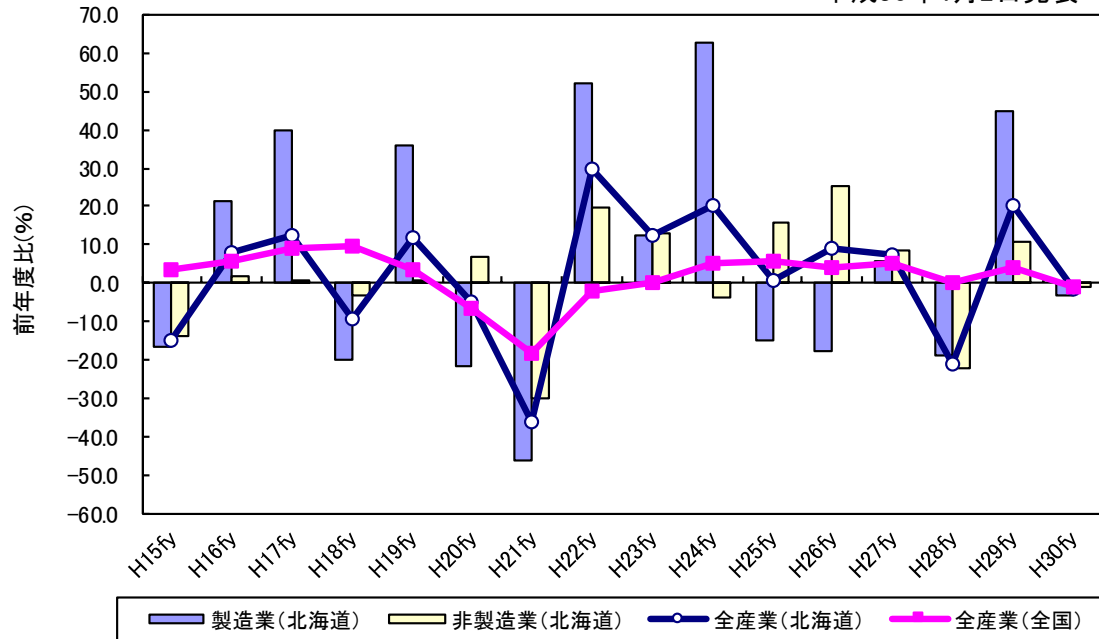


(資料:国土交通省)

29年度の設備投資計画は、全体で前年度比+20.5%と2年ぶりに前年度を上回った。
 なお、30年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向(製造業、非製造業別)

平成30年4月2日発表



【ヒアリング内容】

- 製造業
 - ・ 営業所の改修工事に加え、製造ラインの増設を行う。(飲料・たばこ・飼料製造業)
 - ・ 工場の老朽化と生産の集約化に対応するため、新工場を建設する。(窯業・土石製品製造業)
- 非製造業
 - ・ 国内外観光客の増加に対応するため、道南圏にホテルを併設した複合商業施設を建設する。(宿泊業・小売業)

法人企業景気予測調査(設備投資)

平成30年3月12日発表

	29年度計画	30年度計画
北海道	+ 20.5%	▲ 1.5%
製造業	+ 44.9%	▲ 3.0%
非製造業	+ 10.7%	▲ 0.7%
全国	+ 4.0%	▲ 0.7%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

(資料: 日本銀行札幌支店)

対前年(同期)比 増減率(%)	29年度 (見込み)	30年度 (計画)	
		上期	下期
全産業	21.8	2.1	5.6 ▲ 0.6
製造業	42.7	▲ 5.3	▲ 12.9 0.9
非製造業	12.3	8.4	22.7 ▲ 1.8

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料: 北海道財務局)

3月の有効求人倍率は、1.14倍と前年同月差0.09ポイント上昇し、98か月連続で前年を上回った。

<3月>

北海道

有効求人倍率(常用) 1.14倍

新規求職申込件数 ▲ 8.3%

新規求人数 ▲ 1.6%

全国

有効求人倍率(常用) 1.46倍

<職種別有効求人倍率の例>

型枠大工、とび工 4.71倍

整備工・修理工 2.86倍

調理人、調理見習 2.73倍

給仕、接客サービス員 2.55倍

自動車運転手 2.01倍

販売店員、訪問販売員 1.64倍

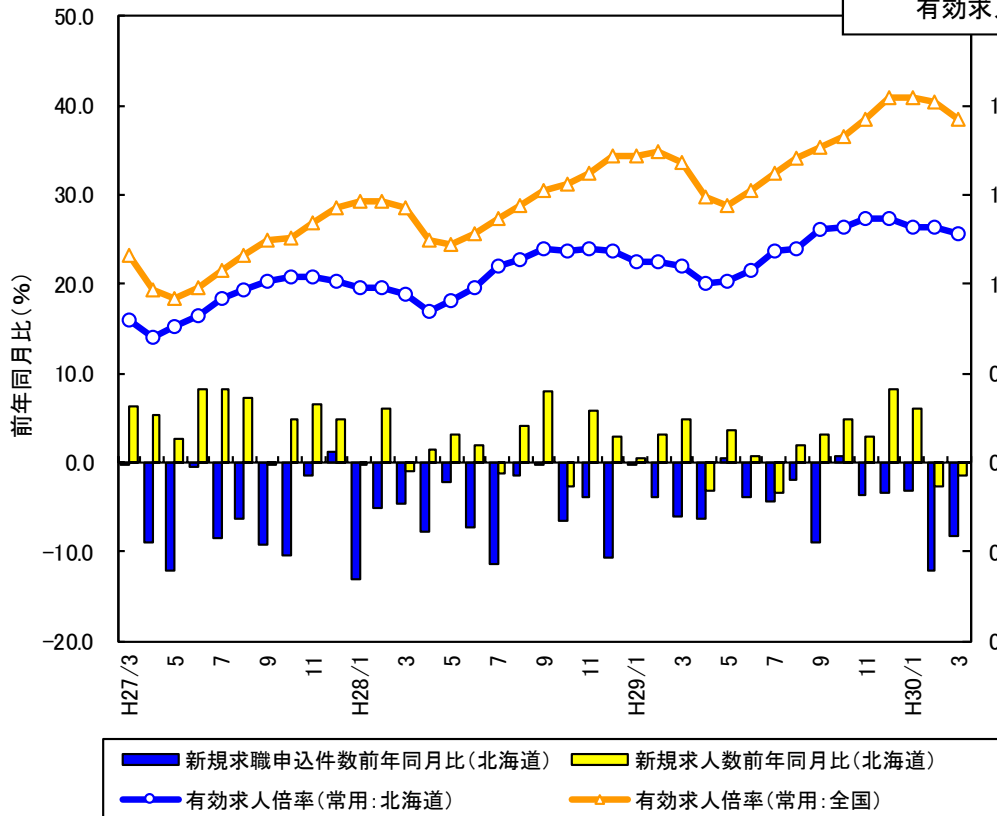
選別作業員、軽作業員 0.16倍

一般事務員 0.38倍

マンション、駐車場等管理人 0.82倍

会計・経理事務員 0.85倍

有効求人倍率・新規求職・新規求人数の推移



【ヒアリング内容】

■ 製造業

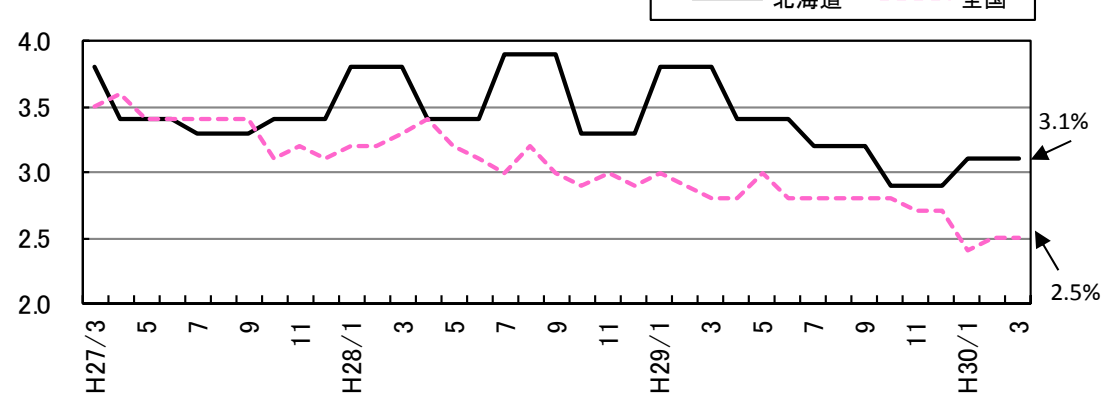
・高齢者でも働きやすい職場環境を整備するため、重労働工程のロボット化を進めている。(食料品製造業)

■ 非製造業

・人材の確保・養成を図るため、ホテル従業員向け職業訓練校を開設する。(宿泊業)

・深刻な人材不足に対応するため、契約社員を正社員に登用するなど、従業員の待遇改善に努める。(運輸業)

完全失業率の推移(原数値)



(資料:厚生労働省、北海道労働局)

(資料:総務省)

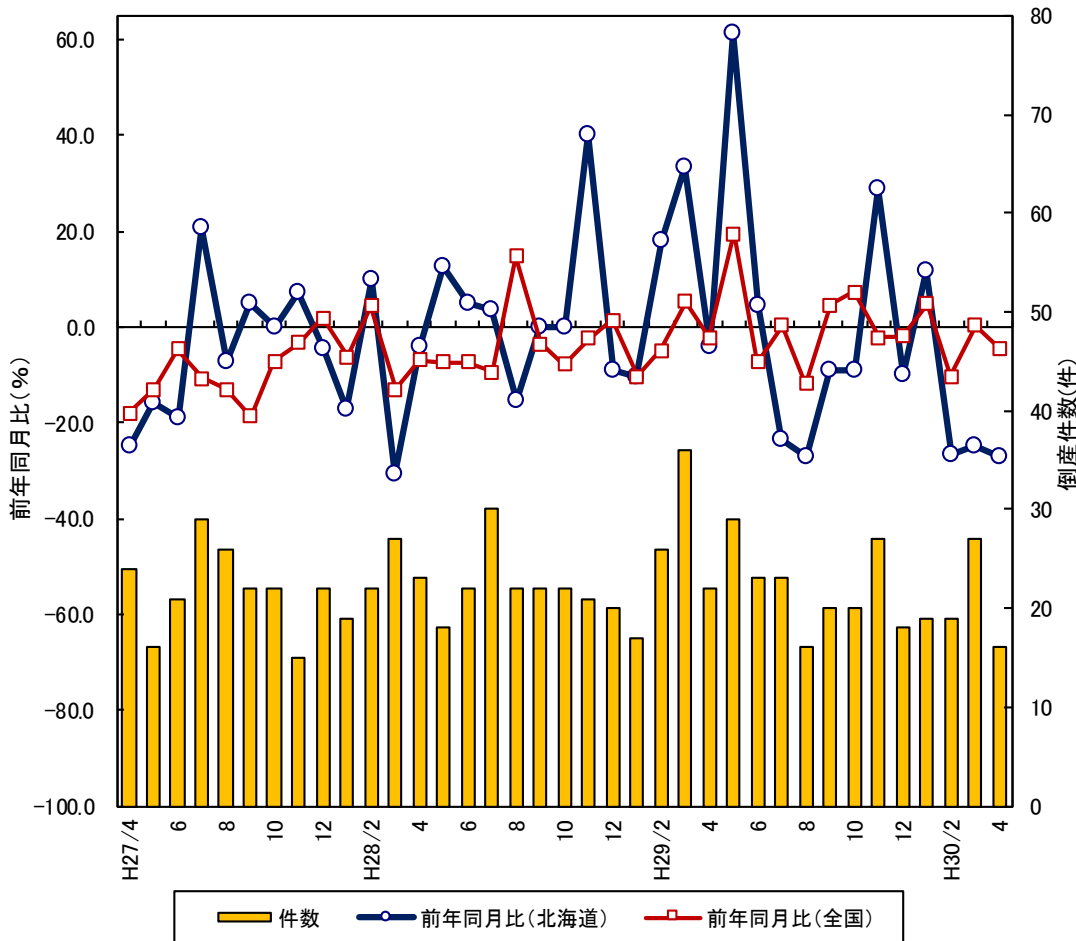
企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

企業倒産

4月の倒産件数は16件で、前年同月比▲27.3%（6件減）と3か月連続で前年を下回った。また、負債総額は15.2億円で、同▲34.8%と3か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数推移

< 4月 >
 北海道 ▲ 27.3%
 全国 ▲ 4.4%



(資料: (株)東京商工リサーチ)

【ヒアリング内容】

■現在の状況

・金融機関の返済条件緩和などから、企業倒産は引き続き落ち着いた状況となっている。(関係機関)

企業倒産負債総額推移

< 4月 >
 北海道 ▲ 34.8%
 全国 ▲ 8.2%

